

月経とは、排卵後に妊娠にいたらなかった場合、卵巣からの黄体ホルモンと卵胞ホルモンが減少し、子宮の内側を覆っている子宮内膜が血液とともに子宮外に排出されるため起き、消退出血とも言います。

月経周期とは、月経の第1日目から次の月経の前日までの日数のことで、正常月経範囲は25-38日、卵胞期(月経初日-排卵日):12-24日、黄体期(排卵日-月経末日):11-14日、出血持続日数:3-7日。初経は10-14歳、閉経は43-54歳が正常範囲です。

これらに当てはまらない場合を月経異常と言い、25日未満で出血が反復する場合を頻発月経、月経周期が39日以上3か月以内のものを希発月経、月経周期や月経血量、月経期間からみて月経とは異なる出血である場合を機能性子宮出血といいます。

頻発月経は、初経から間もない時期や閉経前に見られ、排卵の有無により卵胞期の短縮、黄体期の短縮(黄体機能不全)、および無排卵周期症などがあります。希発月経は、無排卵周期症や卵胞の成熟が遅れることで卵胞期が長くなってしまうことが原因です。また14歳以降になっても初経がない場合を原発性無月経、43歳以前に閉経となってしまう場合を早発閉経と言い、卵巣本体や卵巣に指令を送る脳下垂体の機能に問題がある場合、子宮卵巣に形態的な問題がある場合などが考えられます。